

沙羯羅像

国宝

この像は、インドのナーガ（蛇または龍）の王ナーガラージャから派生した神である沙羯羅を表している。蛇神の伝説は中国を経由して日本にもたらされた。中国では蛇は龍として考えられており、これには重要な水の神である竜王も含まれる。日本の神話では、龍はしばしば雨と関連性のある水の神として描かれている。

沙羯羅は鎧を身にまとった若い戦士として表現されていて、頭の上と胸に蛇がとぐろを巻いている。他の八部衆の像と同様に、この像も 734 年につくられた。麻の繊維に漆を塗り重ねた乾漆造で、内部は空洞になっている。